

# 株式会社シード

## 2025年3月期第3四半期 連結決算説明会

2025年2月19日  
(証券コード:7743)

まだみぬ、世界は、美しい



# 目次

1. 2025年3月期第3四半期 決算概要・見通し
2. 2025年3月期第3四半期 トピックス
3. 参考資料

# 目次

1. 2025年3月期第3四半期 決算概要・見通し
2. 2025年3月期第3四半期 トピックス
3. 参考資料

# 2025年3月期3Q サマリー

## 売上高

25,188百万円

前年同期比 +4.4%

- ・設備増設に比例した生産の実現に時間を要し、販売計画に遅れが発生
- ・第2四半期に発生した機械トラブルによる、「Pureシリーズ」販売活動の抑制が起因

## 売上総利益

10,936百万円

前年同期比 +1.6%

- ・生産数増加による売上高増加の寄与
- ・第2四半期に発生した歩留低下による原価率の上昇
- ・輸入商品が円安の影響を受け輸入価格が当初の想定より上昇

## 営業利益

1,267百万円

前年同期比 △30.3%

- ・販売費において 第1四半期に一過性の費用として、本社移転に伴う費用の発生
- ・人員増加・処遇改善に伴う人件費の上昇、治験実施等により研究開発費が発生

## 国内外の状況

- 近視人口の増加、1日使い捨てタイプへのシフト、スペシャリティレンズの伸長、資源・物流価格の高騰や為替をはじめとする複合的な影響を受けて各社より実施されている価格改定等を背景として、市場が拡大していると推測
- オルソケラトロジーレンズは、コンタクトレンズ市場全体の成長を大幅に上回るスピードで成長

# 2025年3月期3Q 連結決算ハイライト

[百万円]  
百万円未満切捨て

	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	2025/3期 3Q	前年同期 増減額	前年同期比	2025/3期 通期見通し (2024年5月13日公表)	進捗率 (2024年5月13日公表)
売上高	22,675	24,128	25,188	+1,059	+4.4%	36,000	70.0%
売上総利益	8,753	10,767	10,936	+168	+1.6%	—	—
(粗利率)	(38.6%)	(44.6%)	(43.4%)	—	(△1.2%)	—	—
営業利益	809	1,818	1,267	△550	△30.3%	2,200	57.6%
(営業利益率)	(3.6%)	(7.5%)	(5.0%)	—	(△2.5%)	(6.1%)	—
経常利益	801	1,803	1,196	△607	△33.7%	2,100	57.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	269	1,234	825	△409	△33.1%	1,400	58.9%

# 通期業績予想の修正について(2025年2月7日公表)

## ①【連結】通期業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
当初発表予想(2024年5月13日)	36,000	2,200	2,100	1,400	46.26円
<b>今回修正(2025年2月7日)</b>	<b>33,000</b>	<b>1,200</b>	<b>1,100</b>	<b>750</b>	<b>24.78円</b>
増減額	△3,000	△1,000	△1,000	△650	—
増減率(%)	△8.3%	△45.5%	△47.6%	△46.4%	—
参考:前期実績	32,396	2,050	2,059	1,964	77.40円

## ②【個別】通期業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
当初発表予想(2024年5月13日)	32,000	2,200	2,100	1,400	46.26円
<b>今回修正(2025年2月7日)</b>	<b>30,000</b>	<b>1,650</b>	<b>1,500</b>	<b>1,000</b>	<b>33.04円</b>
増減額	△2,000	△550	△600	△400	—
増減率(%)	△6.3%	△25.0%	△28.6%	△28.6%	—
参考:前期実績	29,438	2,391	2,377	1,802	71.03円

売上高は、2号棟別館の稼働により生産数が増加したことから前年同期比で伸長しているものの、第2四半期に生じた「Pureシリーズ」の機械トラブル等による販売活動の抑制があり、当初予想を下回って推移。

利益についても、新規生産設備の立ち上がり際に際しての一時的な生産混乱による原価率の上昇に加え、輸入商品が円安の影響を受け輸入価格が当初の想定より上昇したことが影響。

➡ 連結・個別ともに計画を下回る見込みとなったため、下方修正。

※生産規模拡大過程における不調は、12月、1月と回復基調。長期化する円安、人件費及び原料・資材価格等の高騰による利益率の低下を吸収する為一部商品における、2025年4月以降の価格改定も検討。

# 事業別売上高

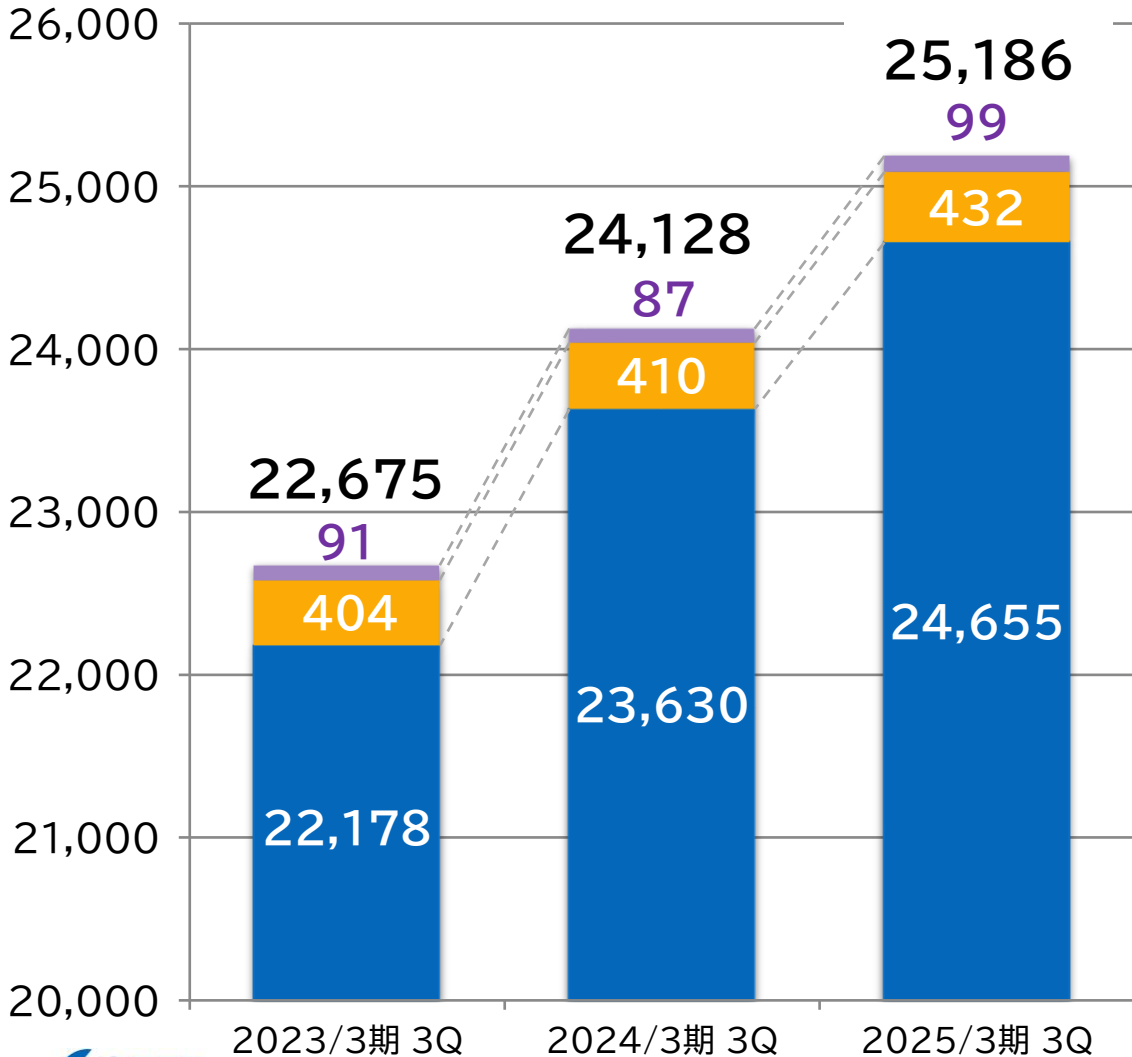
連結

※コンタクトレンズ:光学器械含む ※その他:眼内レンズ・眼鏡事業含む

[百万円]

百万円未満切捨て

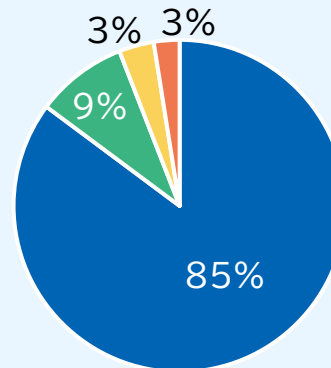
■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他



© SEED Co., Ltd. All Rights Reserved.

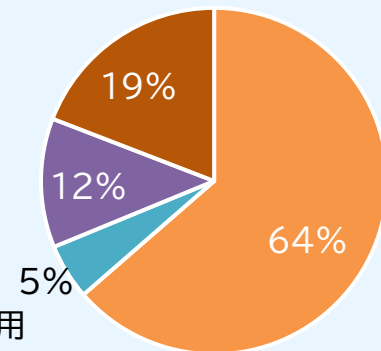
単体

売上高CLカテゴリー比率



- 1day
- 2week
- コンベンショナルレンズ
- オルソ

売上高1dayカテゴリー比率



- 近視・遠視用
- 遠近
- 乱視
- サークル・カラー

カテゴリー別対前期増減比率(単体卸売ベース)

ワンデーピュア	4.0%増	2ウィークピュア	1.1%減
ワンデーファイン	11.9%減	サークル・カラー	1.5%減
オルソケラトロジー	21.5%増	遠近両用	0.5%減

※2024年2Qより乱視・一部遠近両用において納期遅延が発生

※遠近両用は使い捨てとコンベンショナル合計(東レ製品は除く)

# 販管費の状況

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

2024年3月期3Q  
販管費実績

人件費

2,857

+262  
(109%)

3,119

広告  
宣伝費

594

+270  
(145%)

864

研究  
開発費

1,580

+7  
(100%)

1,587

物流  
関連費

1,587

△81  
(95%)

1,506

その他

2,329

+262  
(111%)

2,591

8,949

+719  
(108%)

9,668

- 人件費 : 人員の増加・処遇改善、教育訓練の充実により、前年同期比で増加
- 広告宣伝費: 国内のキャンペーン・イベントなどの広告活動の活性化やコーポレートブランディング浸透に係る費用が第3四半期に発生したため前年同期比で増加
- 研究開発費: スマートコンタクトレンズ開発費用、シリコンハイドロゲルをはじめとした複数の治験関係費用により前年同期比で微増
- 物流関連費: 国内の注文・発送形態の見直しにより配送経費を削減、前年同期比で減少
- その他 : 第1四半期に一過性の費用として、本社移転に伴う費用/インフラ整備費用(100百万円)が発生  
ブランド戦略・価値上昇のためのコーポレートブランディングに関する費用の発生  
基幹システムや情報セキュリティ関連費用、PCの入れ替え費用などによる増加  
2024年6月より新社屋の減価償却費の計上を開始、仮社屋の賃借料と相殺



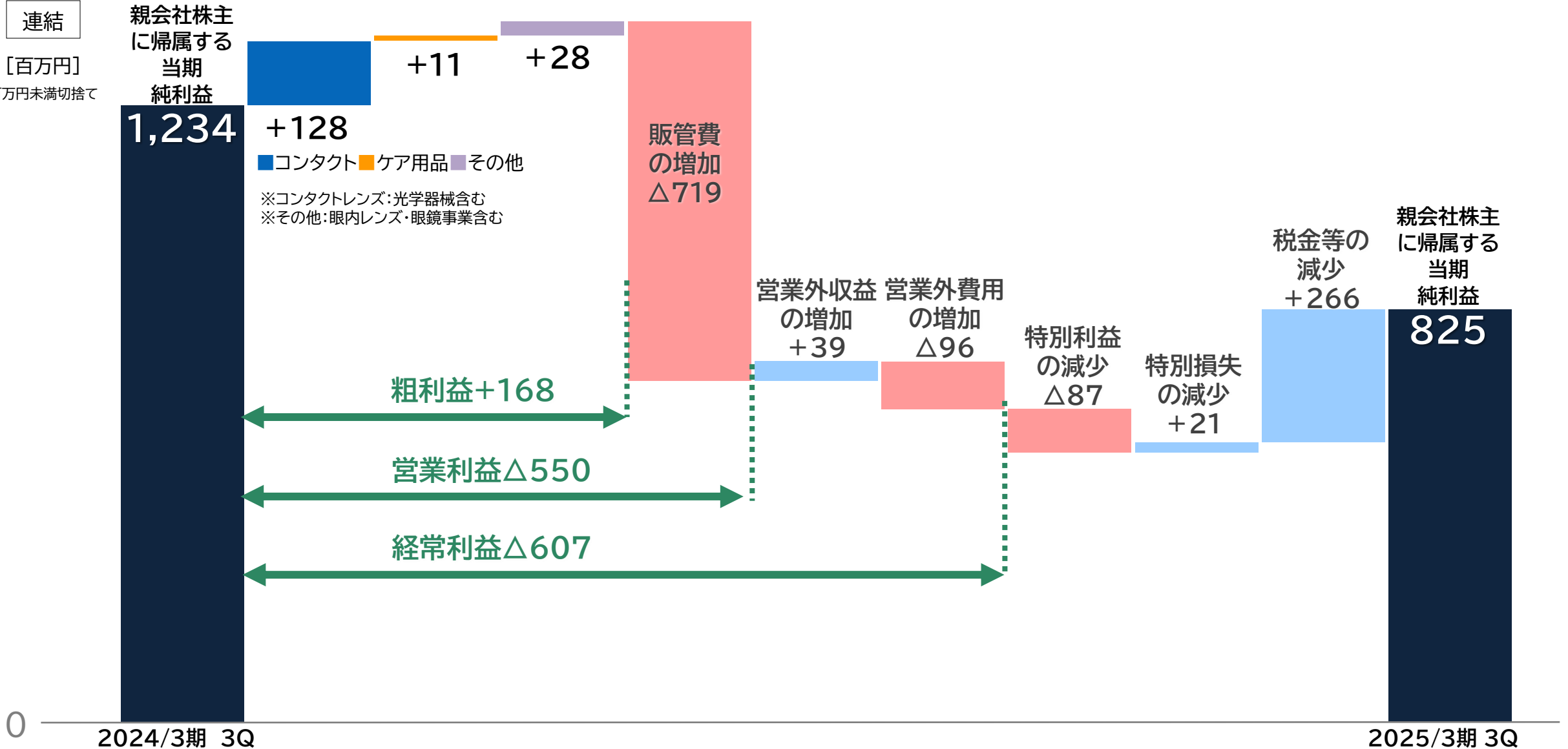
# 利益増減分析

連結

親会社株主に  
帰属する  
当期  
純利益

[百万円]

百万円未満切捨て



2024/3期 3Q

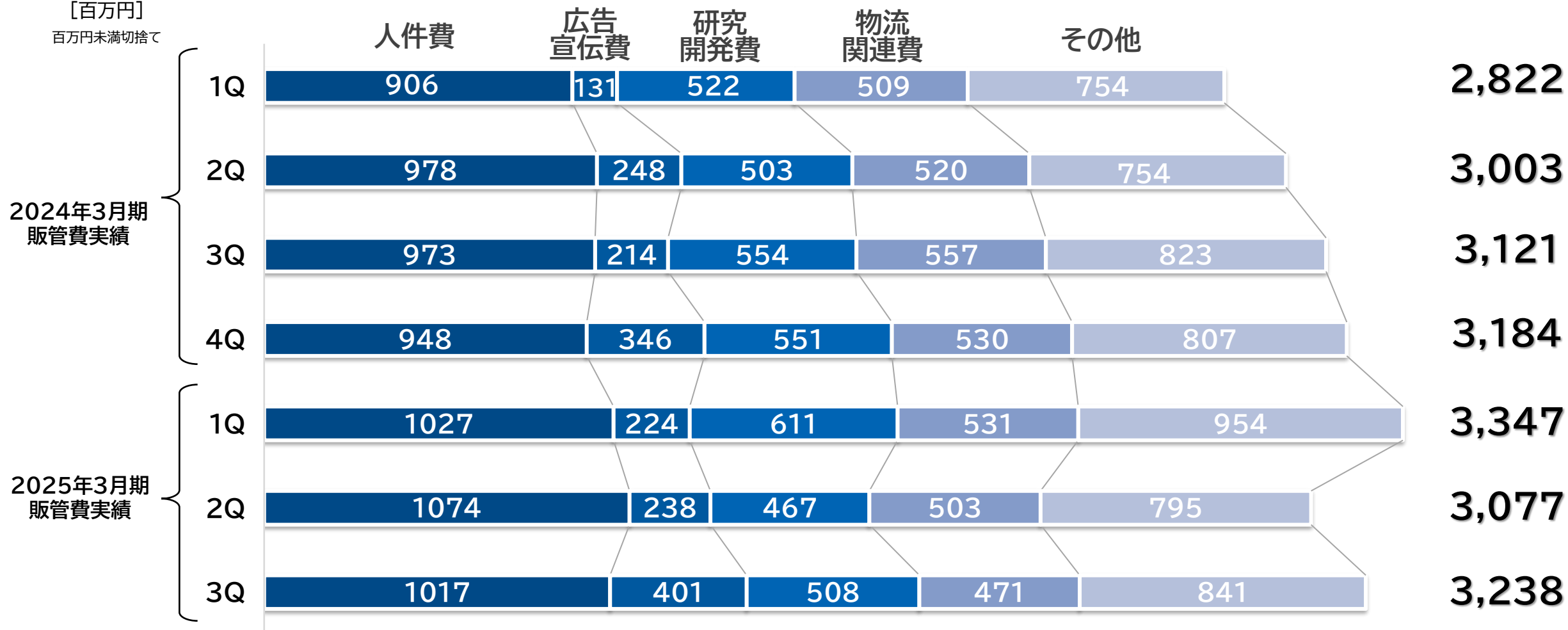
2025/3期 3Q

# 参考資料: 販管費の状況

連結

[百万円]

百万円未満切捨て



# 財務状況推移

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2024/3月末		2025/3月末 3Q		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>資産の部計</b>	<b>49,574</b>	<b>100.0</b>	<b>51,869</b>	<b>100.0</b>	<b>+2,295</b>
流動資産	22,322	45.0	21,361	41.2	△ 960
内 現預金	9,889	19.9	8,265	15.9	△ 1,624
商品及び製品	4,776	9.6	4,919	9.5	+142
貸倒引当金	△ 24	0.0	△ 22	0.0	+2
固定資産	27,252	55.0	30,508	58.8	+3,255
内 有形固定資産	23,989	48.4	27,412	52.8	+3,422
無形固定資産	1,042	2.1	950	1.8	△ 91
<b>負債の部計</b>	<b>31,923</b>	<b>64.4</b>	<b>33,703</b>	<b>65.0</b>	<b>+1,779</b>
流動負債	19,566	39.5	18,596	35.9	△ 969
内 短期借入金	13,498	27.2	12,598	24.3	△ 900
短期リース債務	1,410	2.8	1,830	3.5	+419
固定負債	12,357	24.9	15,106	29.1	+2,748
内 長期借入金	4,893	9.9	6,592	12.7	+1,698
長期リース債務	4,380	8.8	5,417	10.4	+1,036
<b>純資産の部計</b>	<b>17,650</b>	<b>35.6</b>	<b>18,166</b>	<b>35.0</b>	<b>+516</b>
<b>負債・純資産計</b>	<b>49,574</b>	<b>100.0</b>	<b>51,869</b>	<b>100.0</b>	<b>+2,295</b>

鴻巣研究所2号棟別館  
建築費用の支払い

鴻巣研究所2号棟別館竣工  
・本社新社屋竣工により増加

本社新社屋建設資金  
繋ぎ資金を長期借入金へシフト

本社新社屋建設に伴う長期借入金  
の増加

鴻巣研究所2号棟別館への新規設備  
導入によるリース債務の増加

# キャッシュ・フロー | 主要項目

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2024/3期 3Q	2025/3期 3Q	前期比較
<b>営業活動によるC・F</b>	4,550	2,625	△ 1,924
内 税金等調整前四半期純利益	1,872	1,198	△ 674
減価償却費	1,985	2,449	+463
棚卸資産の増減額(△は増加)	361	△ 79	△ 440
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 228	△ 87	+140
<b>投資活動によるC・F</b>	△ 2,051	△ 3,586	△ 1,535
有形固定資産取得	△ 1,992	△ 3,720	△ 1,727
無形固定資産の取得	△ 20	△ 14	+6
<b>財務活動によるC・F</b>	△ 1,374	△ 633	+741
内 短期借入金の純増減額	445	△ 750	△ 1,195
長期借入金の借入	878	3,150	+2,272
長期借入金の返済	△ 1,600	△ 1,589	+10
リース債務の返済による支出	△ 776	△ 989	△ 212
<b>現金及び現金同等物 四半期末残高</b>	<b>6,043</b>	<b>8,228</b>	<b>+2,185</b>

鴻巣研究所の新規製造設備増設  
本社新社屋建設  
合計+10百万円/月

鴻巣研究所の新規製造設備増設  
本社新社屋建設

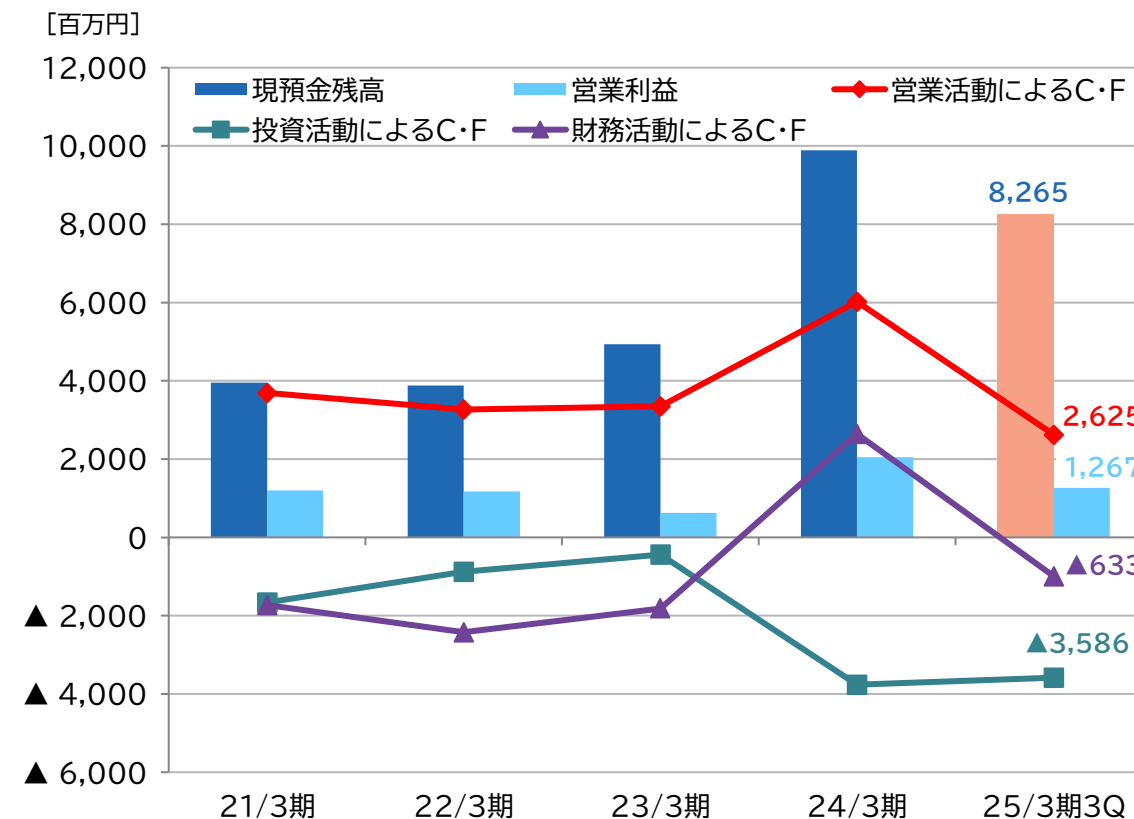
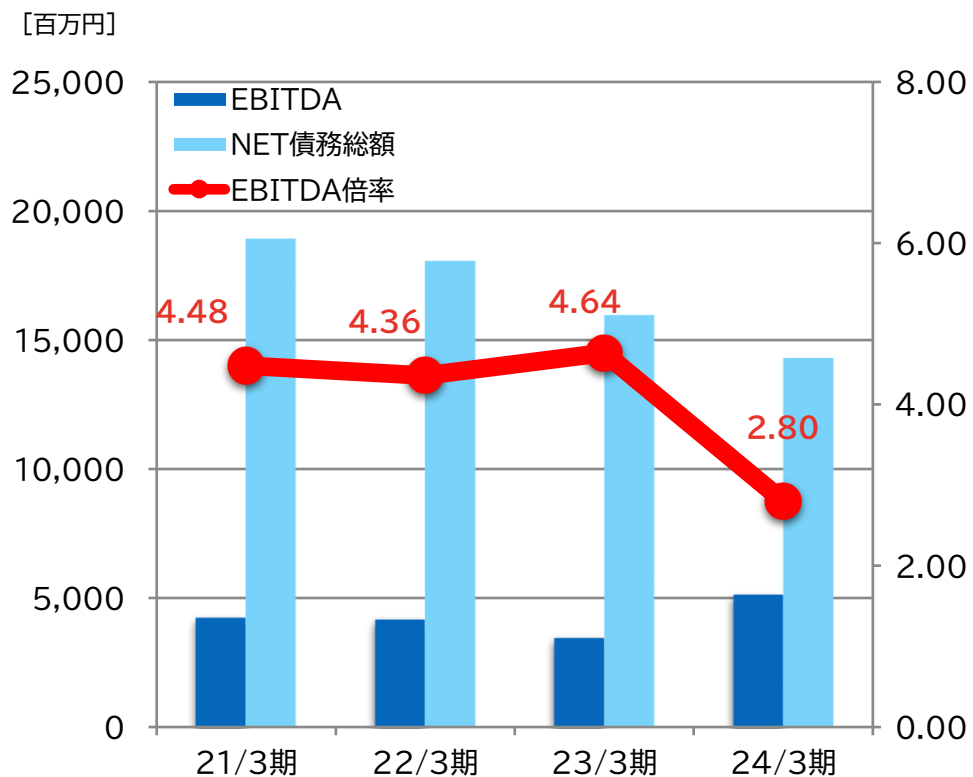
鴻巣研究所2号棟別館への新規設備  
導入によるリース債務の増加

# キャッシュ・フロー：関連指標推移

連結 [百万円] 百万円未満切捨て

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
<b>EBITDA</b>	4,218	4,140	3,438	5,102
<b>EBITDAマージン</b> EBITDA÷売上高	14.7%	14.4%	11.2%	15.8%

2024/3期 3Q	2025/3期 3Q
3,991	3,941
16.5%	15.6%



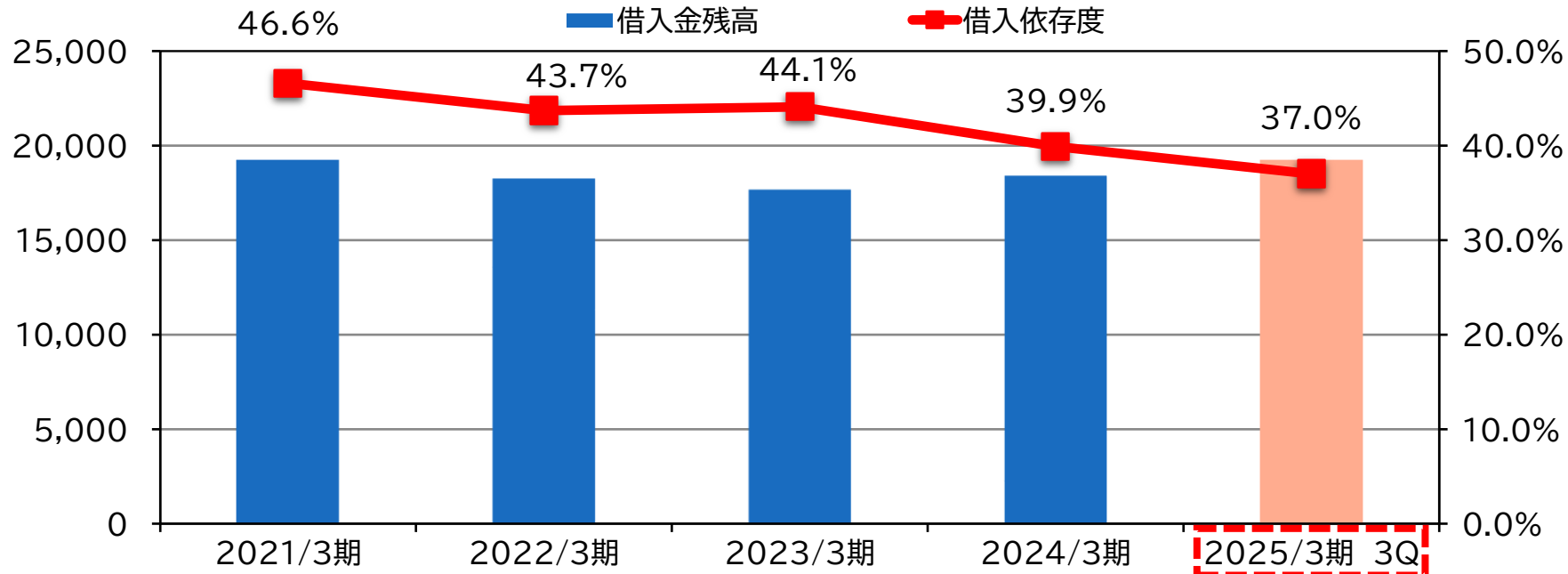
◇EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息 ※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

# 財務・株価指標 | 推移

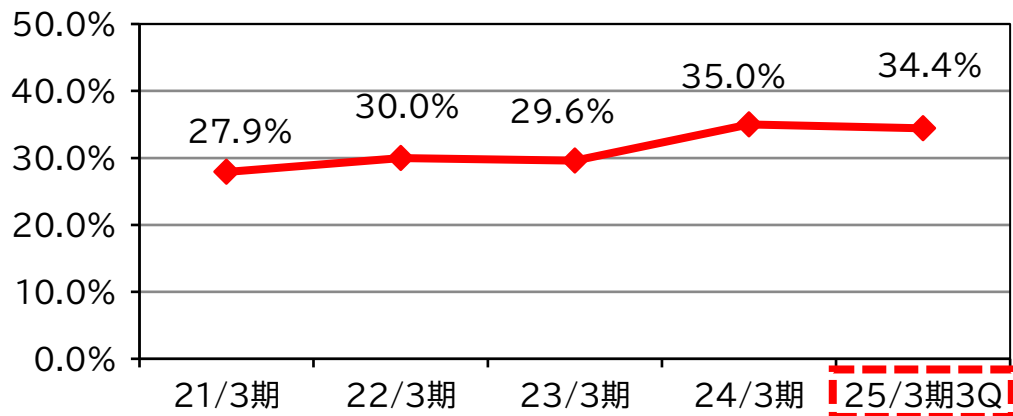
連結

[百万円]

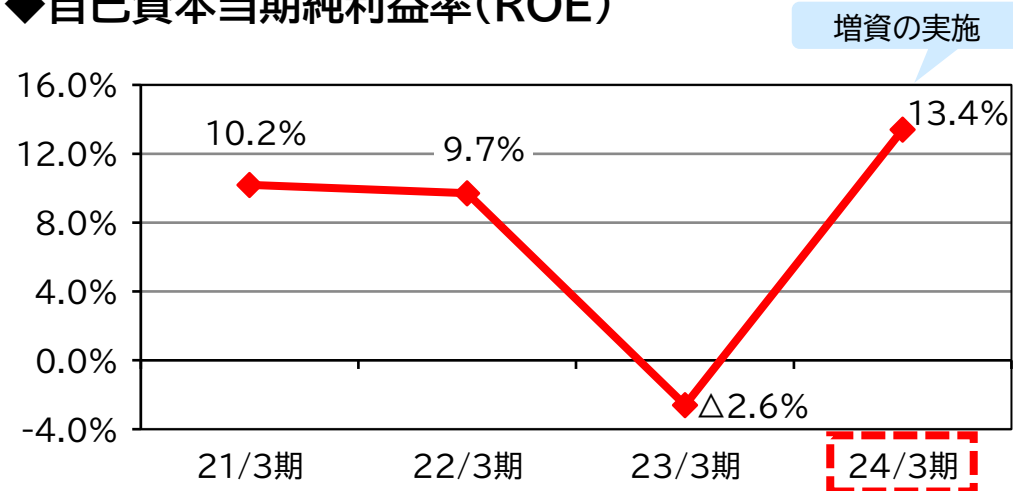
## ◆借入金の推移



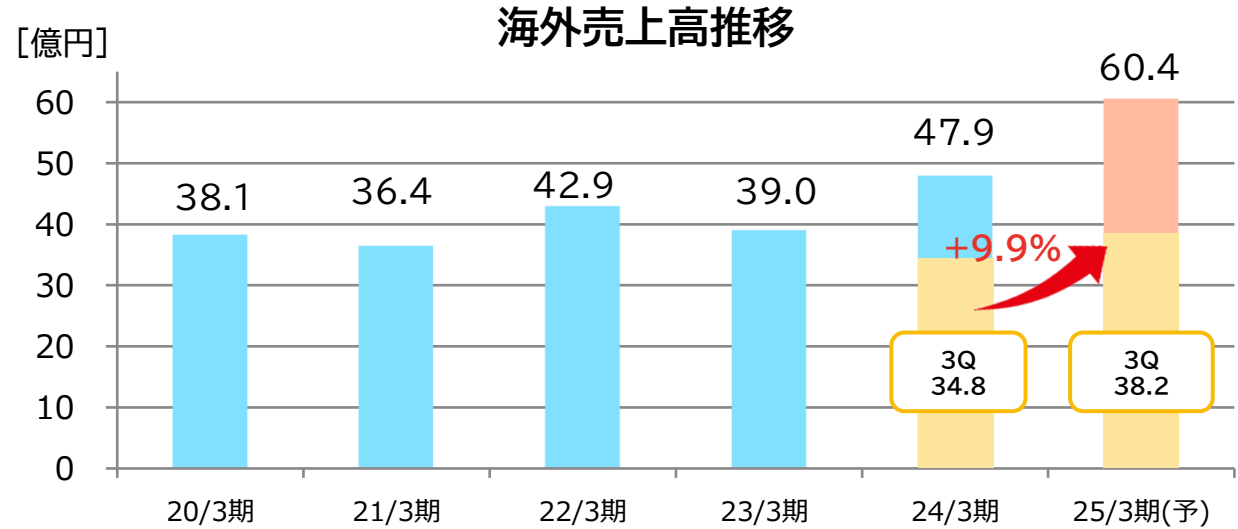
## ◆自己資本比率



## ◆自己資本当期純利益率(ROE)



# 国際展開



※現地法人売上+当社から現地代理店への卸売合計

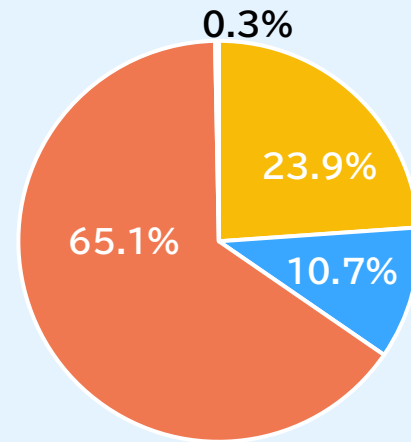
## 主な海外商品

### 【コンタクトレンズ】

### 【ケア用品】



## ◆海外売上高構成比(2025/3期 3Q)



- 中国(香港・マカオを含む)
- その他アジア
- 英国・欧州
- その他

# 海外トピックス

## エジプト・アラブ共和国へのコンタクトレンズ製品出荷を開始

2024年12月よりエジプト・アラブ共和国へ当社製品の出荷を開始いたしました。当社は現在50以上の国と地域に展開しております。今後も地域の特徴に即した展開を計画し、未進出国へ積極的にアプローチしてまいります。



## シード子会社Wöhlk Contactlinsen GmbH

### ドイツ健康賞※のコンタクトレンズメーカー部門 第1位を獲得

2024年度は合計69の部門の受賞者が診療所、薬局、健康製品メーカー等の分野から選ばれており、当社子会社である、Wöhlkが、コンタクトレンズメーカー部門で第1位を獲得いたしました。

コンタクトレンズメーカー部門では、コストパフォーマンス、製品ラインナップ、顧客満足度、推薦度の分野で100点満点中、平均82.9点を獲得し、コストパフォーマンスと顧客満足度、総合順位では第1位を獲得いたしました。なお、Wöhlkの受賞は2年連続2度目となります。



※ドイツサービス品質研究所(DISQ)とニュースチャンネルntvが、顧客投票により決定したドイツで最も人気のある医療提供者を表彰する賞  
2024年度は合計45,000人以上が投票



# 目次

1. 2025年3月期第3四半期 決算概要・見通し
2. 2025年3月期第3四半期 トピックス
3. 参考資料

## トピックス目次

- ① 企業価値向上に向けた取り組み状況
- ② 鴻巣研究所生産力の増強
- ③ 「シード1dayPureマルチステージ」納期正常化
- ④ 「シード Eye coffret 1day UV M Multistage」発売
- ⑤ スマートコンタクトレンズ プラットフォーム公開
- ⑥ その他

# 2025年3月期3Q トピックス① | 企業価値向上に向けた取り組み

当社グループは連結売上高500億円を達成を目指し、世界のコンタクトレンズ市場でプレゼンスを発揮するための生産基盤の確保することを、2024年4月を起点とする中期経営計画として掲げており、計画の達成とその先の成長を見据えた取り組みを積極的に行っております。

2024年  
4月

鴻巣研究所  
2号棟別館竣工



6月より順次稼働となり、  
10月より本格稼働

2024年  
5月

シード新本社竣工



旧社屋の老朽化に伴い、  
労働生産性や創造性の発揮  
を目的とした建て替え

2024年  
10月

新パーパス策定  
コーポレートロゴ一新

まだみぬ、世界は、美しい



当社の存在意義を明確化した  
パーパスを策定、さらにコー  
ポレートロゴの一新によって  
コーポレートブランドを再構築

2024年  
11月

資本コストや株価を  
意識した経営の実現に  
向けた対応に関する  
お知らせを開示

鴻巣研究所4号棟着工



※完成パース

2026年1月竣工予定

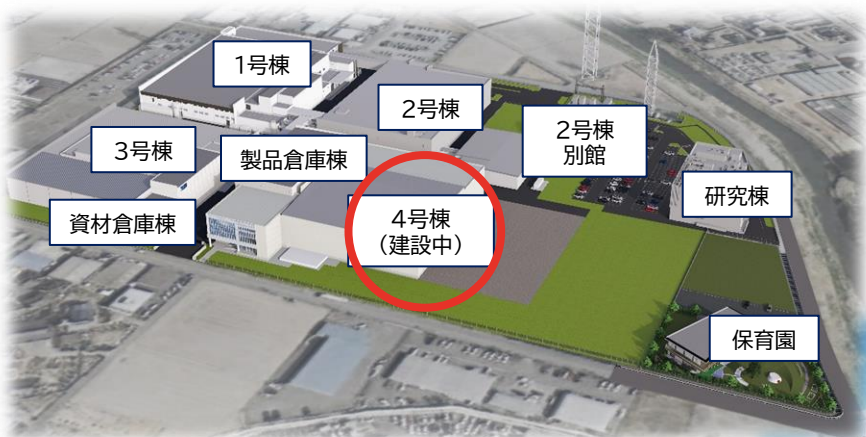
2025年  
1月

マテリアリティの  
特定を行い、公表

当社が解決すべき  
社会課題や、社会要請を  
「シードのマテリアリティ」と  
特定し、ステークホルダーと  
のエンゲージメントを  
高める指標といたします

※2025年3月期における取り組みの一例

# 2025年3月期3Q トピックス② | 鴻巣研究所生産力の増強

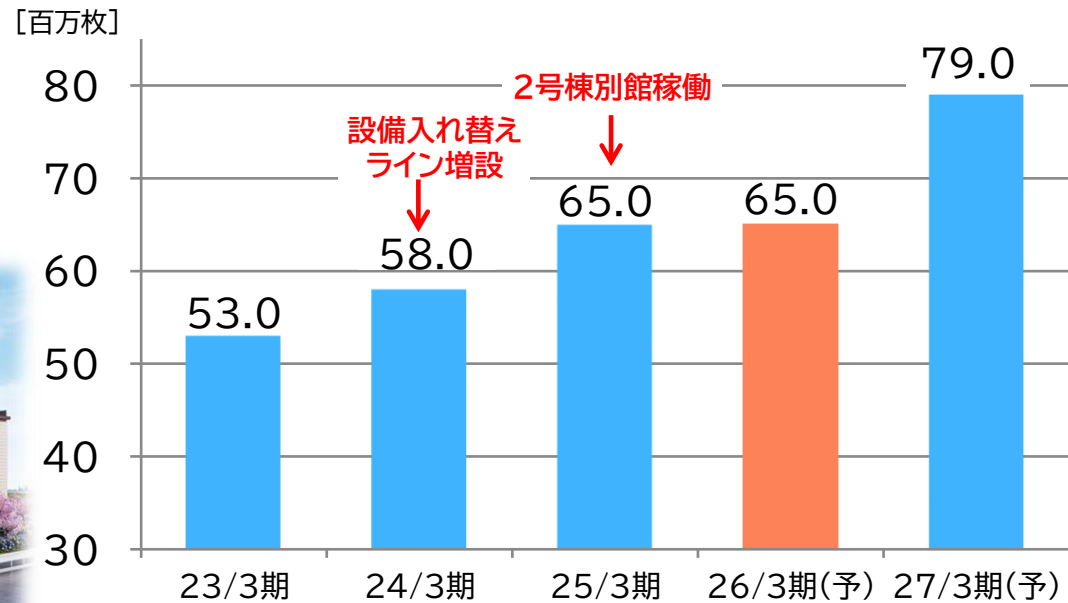


鴻巣研究所全体の鳥瞰図



鴻巣研究所4号棟 完成パース

<最大生産枚数推移(使い捨てコンタクトレンズ)(月間)>



※ 開発用ライン含む使い捨てコンタクトレンズ相当生産数

時期	計画内容	最大生産枚数/月※	進捗状況
2025年3月期	2号棟 別館	5,800万枚→6,500万枚	2024年10月より本格稼働
2027年3月期	4号棟 第一期	6,500万枚→7,900万枚	着工:2024年11月 竣工予定:2026年1月 稼働予定:2026年3月

## 2025年3月期3Q トピックス③ | 「シード1dayPureマルチステージ」納期正常化

シード鴻巣研究所では製造能力増強の一環として2号棟別館を建設し、試験運用期間などを経て、2024年7月より商業生産を開始しております。徐々にではありますが、製造数も増加傾向にあり、直近の在庫も積み上がってまいりました。

つきましては、2023年9月より受注後14日後発送としておりました、遠近両用コンタクトレンズの「シード1dayPureマルチステージ」を、2025年1月24日受注分から段階的に納期短縮をし、2025年2月10日より通常納期にてお届けしております。

「シード1dayPureうるおいプラス乱視用」につきましても、一刻も早い納期正常化に向け全社総力をあげて取り組んでおります。



# 2025年3月期3Q トピックス④ | 「シード Eye coffret 1day UV M Multistage」発売

サークルコンタクトレンズ発売当時のユーザーは、時を経て遠近両用コンタクトレンズのターゲット世代になってきております。

遠近両用コンタクトレンズ市場は、需要の拡大が見込まれる一方、遠近両用サークルコンタクトレンズ商品の選択肢は非常に限られております。

そこで当社は、ユーザーの皆さまのライフステージの変化に合わせて、遠近両用サークルコンタクトレンズ「シード Eye coffret 1day UV M Multistage」を2024年12月19日に発売いたしました。



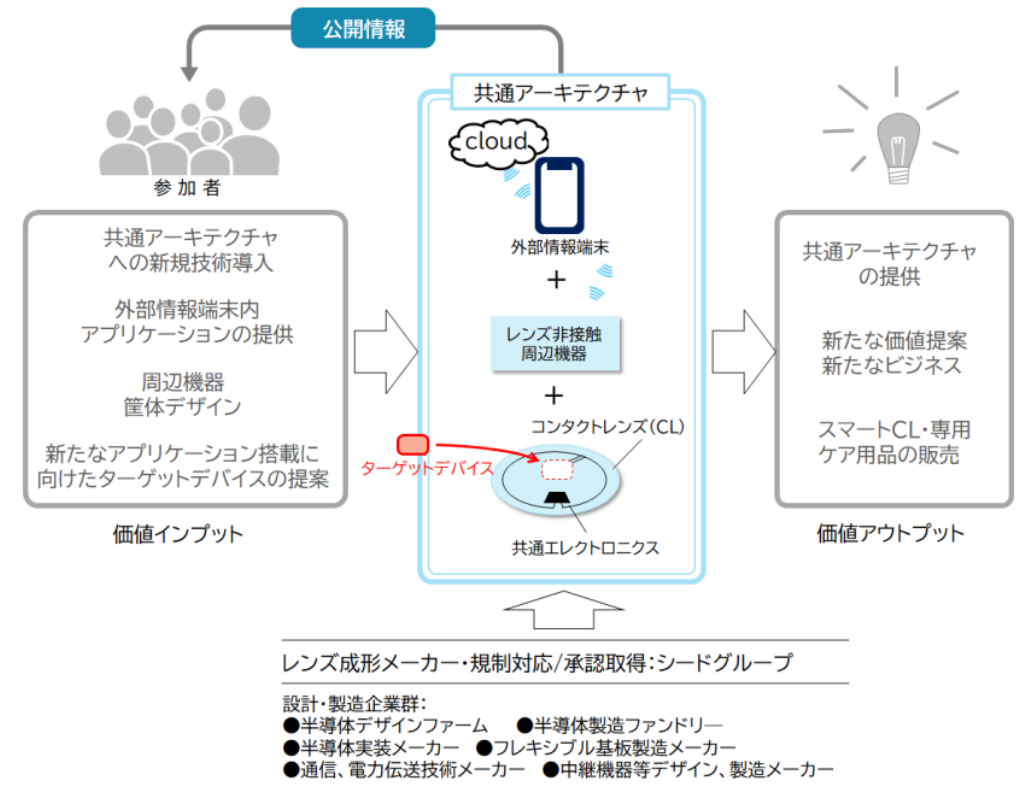
# 2025年3月期3Q トピックス⑤ | スマートコンタクトレンズ プラットフォーム公開

当社グループは、大規模集積回路※を含む、アンテナ、半導体チップ等の各種電子部品をコンタクトレンズへ実装する技術の標準化、および多様なデバイスを汎用的に駆動できる大規模集積回路の開発に成功(2024年11月26日リリース)し、プラットフォームを2025年2月4日に公開いたしました。

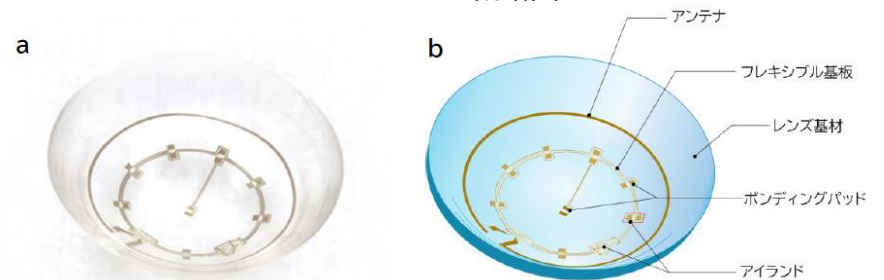
プラットフォームの提供によって、高額な開発投資が必要だった分野への参入障壁が下がり、スマートコンタクトレンズ市場の成長を促進するものとなります。

本プラットフォームへご参加いただく企業、大学等研究機関は、本機能の利用によって通信、エンターテインメント、教育など様々な分野において、スマートコンタクトレンズを用いた革新的なサービスや製品の社会実装をもたらすことが期待されます。

※半導体チップに多数の素子や配線を集積した電子回路



プラットフォームの概略図



スマートCLの基盤となる共通アーキテクチャ

a: 試作品例写真 b: 部品構成

# 2025年3月期3Q トピックス⑥その他 | オルソケラトロジーレンズ

寝ている間に視力矯正ができる  
オルソケラトロジーレンズ

寝る時にレンズを装用することで角膜形状を変化させ、起床後にレンズを外して日中は裸眼で過ごすことができる治療法

視力を矯正したい人が



夜にレンズをつけて寝ると...



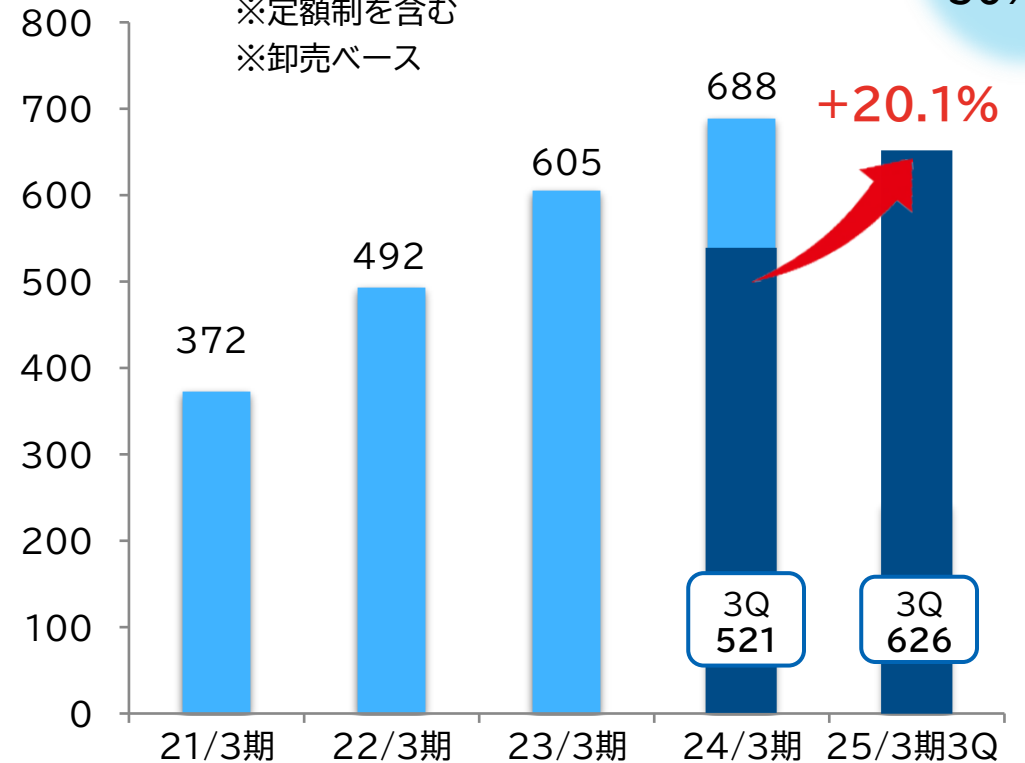
朝起きると、日中の裸眼視力が矯正される



[百万円]  
百万円未満切捨て

オルソケラトロジーレンズ売上

※定額制を含む  
※卸売ベース



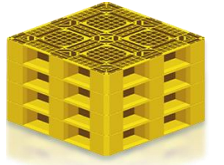
国内での  
マーケットシェア  
50%以上

国内外の状況：日本、東南アジア、香港、インド / 欧州(Wöhlk社製品を販売)販売中

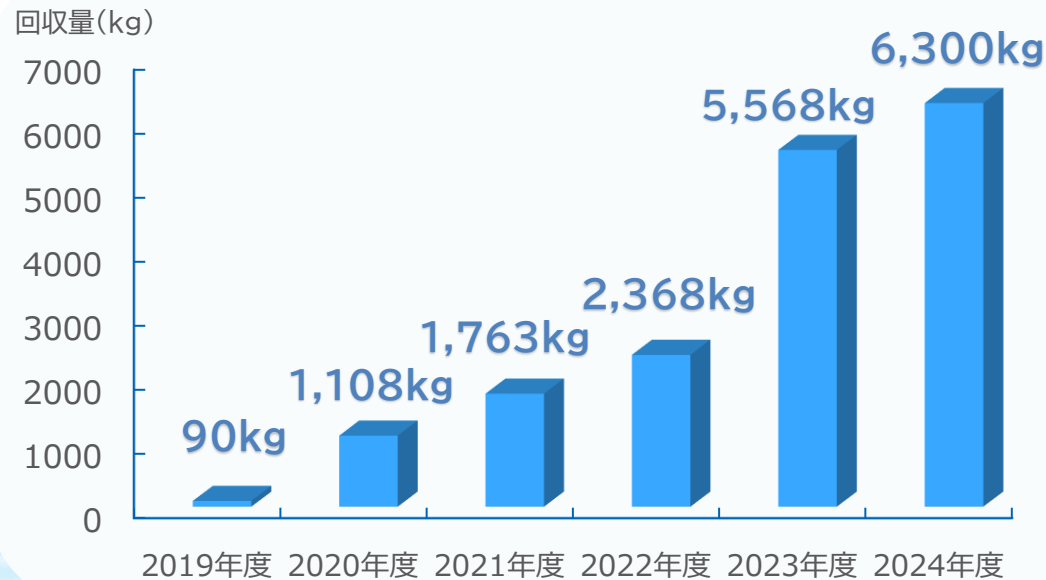




## BLUE SEED PROJECT ～海に愛 (Eye) を～



▶使い捨てのコンタクトレンズのブリスターを回収し、資源としてリサイクルをするプロジェクト



(2025年1月22日現在)

施設名	施設数
眼科・販売店 (関連子会社を含む)	1,094施設
企業	54社
学校	10校
行政	3市町村

お客さまにお持ちいただいたブリスターはリサイクル事業者へ販売し、需要が高まっている物流のプラスチックパレットに生まれ変わります。(サーキュラーエコノミーの実現)

また、リサイクル事業者へ販売し得た収益は、海の保全活動をしている団体へ寄付を行っております。

## Personalization



お客さま一人ひとりに合わせた製品の開発  
次の量産商品化へ向けて準備中(乱視遠近)



シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲルレンズの開発



国内産初の使い捨てレンズ



遠近両用



乱視用



スマホ眼用

テクニカルレンズの開発

## 近視進行抑制

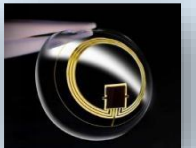


近視進行抑制の効果を確認するため、国内でシード1dayPure EDOF、  
オルソケラトロジーレンズを用いての治験実施中  
さらに国内外の大学が臨床研究等を実施中



## シリコンハイドロゲルコンタクトレンズの開発

次世代の高酸素透過レンズ開発・治験実施中



## スマートコンタクトレンズの開発

- ・トリガーフィッシュに続く新たなデバイスを内蔵したスマートコンタクトレンズの開発
- ・革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))のNICT事業に採択
- ・コンタクトレンズへの電子部品等実装技術の標準化および、大規模集積回路開発に成功、プラットフォーム公開



## DDSコンタクトレンズ

「抗アレルギー薬含有コンタクトレンズ」の第2相の治験  
が終了し、第3相に向けて準備中

次世代商品の開発

# 中期経営計画(2024年4月～2027年3月)

2024年1月12日開示 3ヶ年中期経営計画

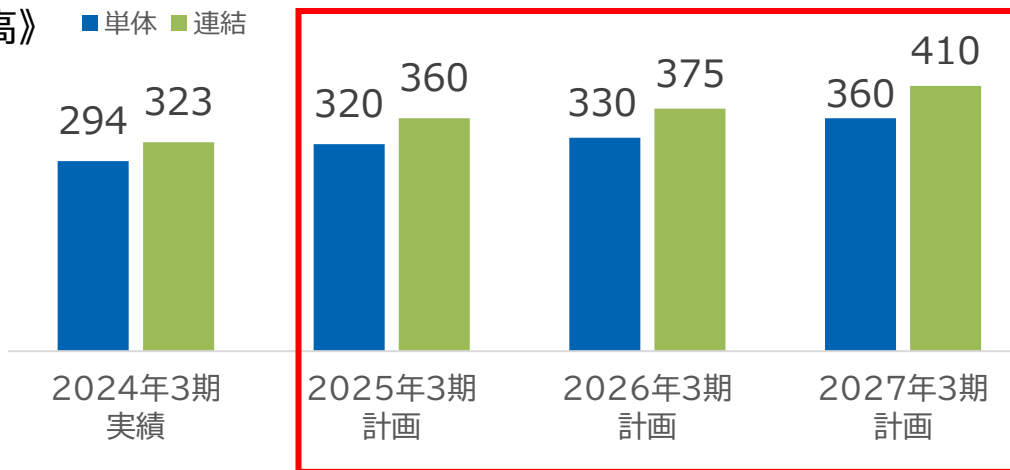
## 【中期経営計画の位置付け】

- 連結売上高500億円を達成し、世界のコンタクトレンズ市場でプレゼンスを発揮するための生産基盤の確保  
(売上・業容拡大の足枷となっている商品供給力の不足を補うため、積極的な設備投資を行い、世界に伍する生産能力の整備を行う)
- 省人化生産を実現し、競争力を維持できる生産体制の構築
- 更なる品質の向上をすすめ、安心安全を追求
- コーポレートブランドの再構築による企業価値の向上
- 環境経営の推進
- 人的資源の強化を通じた事業基盤の整備

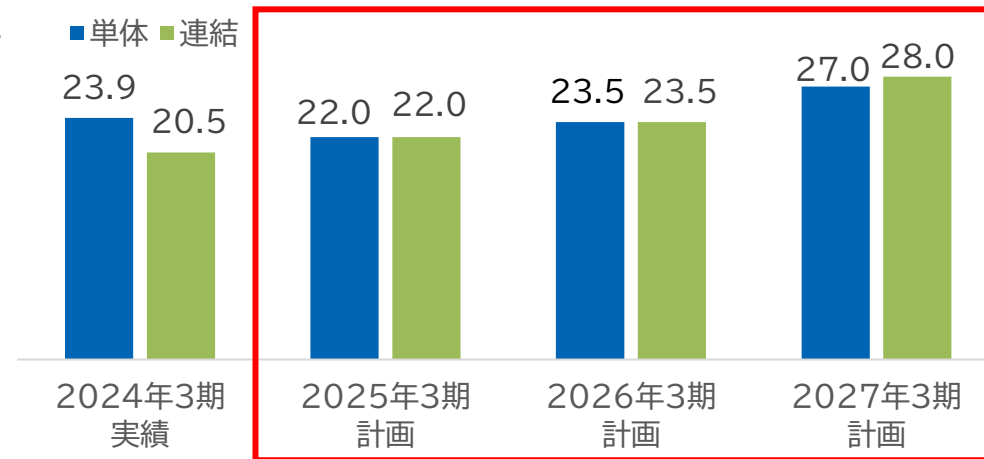
生産力を抜本的に改善する3年間となっており、大幅な収益改善は4号棟完成(2027年3月期)以降となります。2号棟別館の稼働や歩留まりの着実な改善等による生産力のアップにて収益力の改善にとどまりますが、将来の成長に対するコストをこの期間にかけることにより、中長期的な当社の成長へと繋がります。

# 中期経営計画(2024年4月～2027年3月)財務目標

《売上高》 ■単体 ■連結



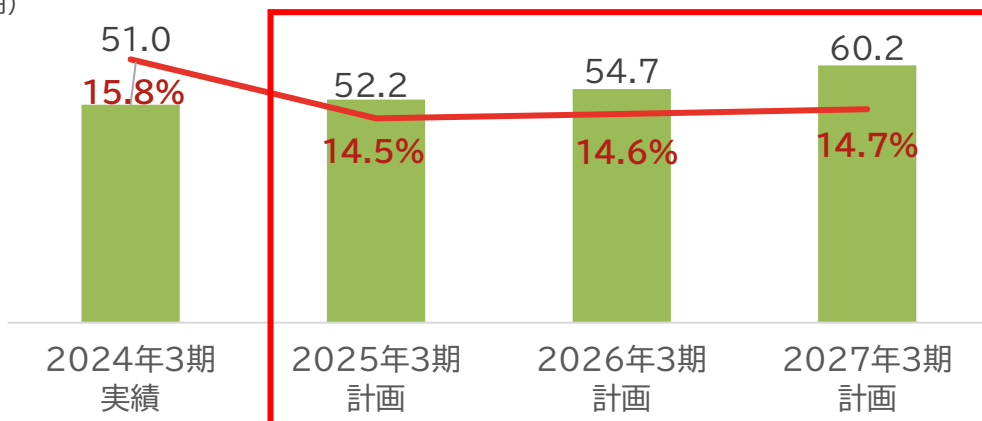
《営業利益》 ■単体 ■連結



《EBITDA》

(単位：億円)

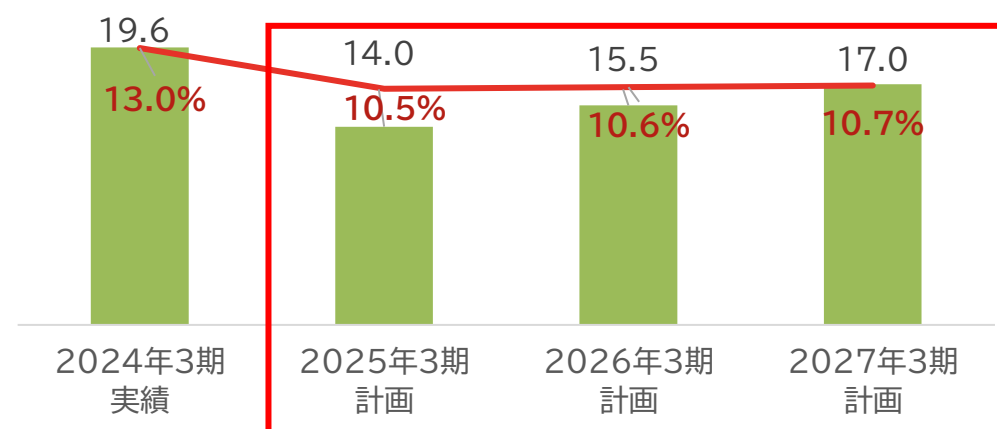
■ EBITDA — EBITDAマージン



《ROE》

(単位：億円)

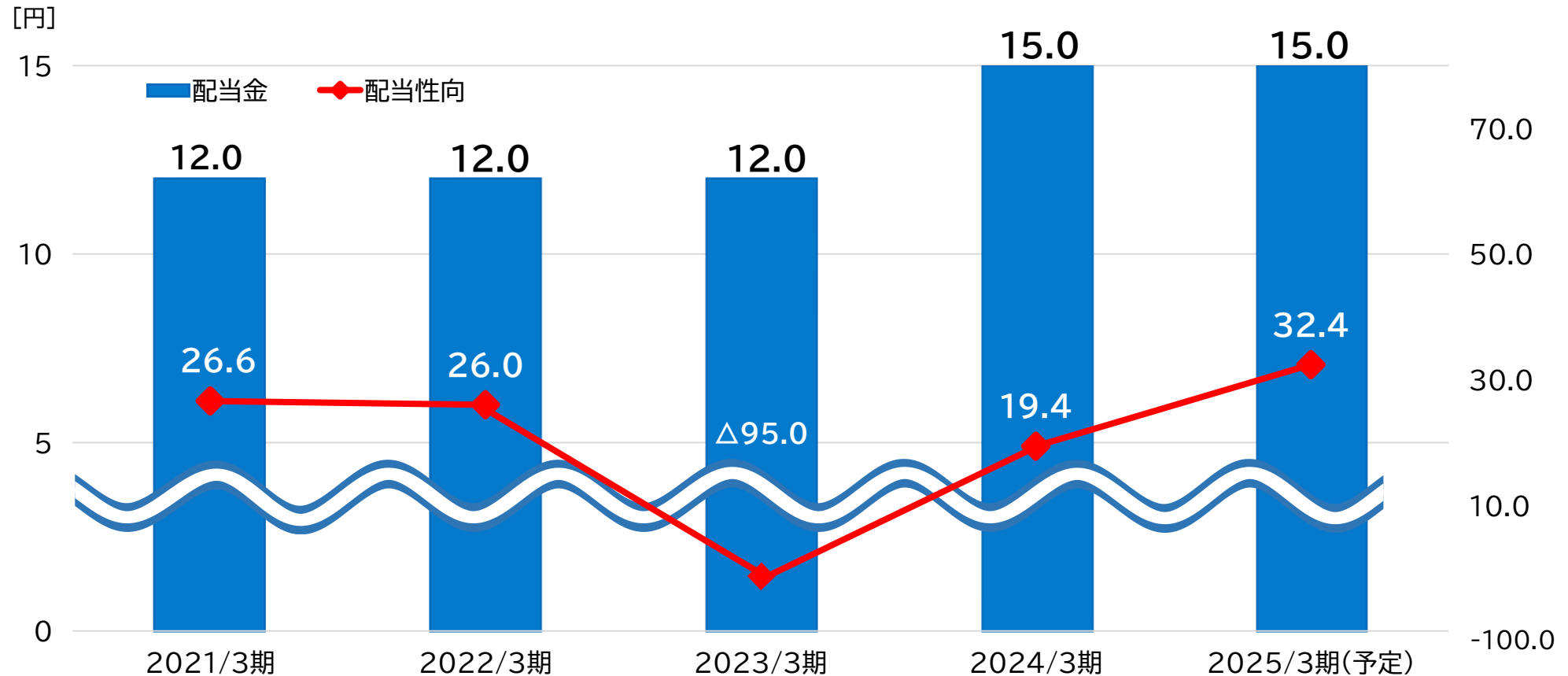
■ 親会社に帰属する当期純利益 — ROE



- 2027年3月期は連結売上高 410億円とし、連結売上高 500億円を達成するための足場固めを行う
- 利益構造の改善を継続し、営業利益ベースでの増益を継続する
- キャッシュ創出力を強化し、EBITDA 60億円を目指す
- 利益効率を高め、ROE 10.7%(2027年3月期)を目指す

# 株主還元

適切な配当施策の実施のため、配当性向30~40%を目標とした配当の継続を目指す。



今後の成長戦略と、株主への安定的な利益還元を継続していくこと等を総合的に勘案

1株あたり年間配当金額  
1株につき 15円

配当利回り: 2.7%

※2024年12月30日 株価(終値)548円

# プライム市場上場維持基準への適合状況について

プライム市場の上場維持基準への適合状況は、2024年12月30日終値548円に基づく当社の試算によると「流通株式時価総額」について、基準を満たしていません。  
 上場維持基準を満たすために、2024年11月11日に開示いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて」に基づき、各種取組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均 売買代金
当社の適合状況 及び その推移	2024年3月31日時点※1	25,833人	155,150単位	115.0億円	51.2%	—
	2024年12月31日時点※2	—	—	—	—	1.16億円
	(参考)2024年12月30日時点※3	—	—	77.3億円	—	—
プライム市場 上場維持基準		800人以上	20,000単位	100億円	35%	0.20億円
(参考)2024年12月31日時点での適合状況				不適合		

- ※1 東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算定を行ったものです
- ※2 東京証券取引所が基準日時点で把握している売買代金です
- ※3 当社が2024年12月30日終値548円にて算定しており、参考値となります

# 目次

1. 2025年3月期第3四半期 決算概要・見通し
2. 2025年3月期第3四半期 トピックス
3. 参考資料

# 参考資料:会社概要

本社	東京都文京区本郷2-40-2
設立	1957年10月9日(昭和32年)
上場	1989年12月(平成元年12月)
証券コード	7743 東京証券取引所プライム市場
資本金	3,532百万円
従業員	1,337名(連結) ※2024年3月末現在、アルバイト・契約社員を含む
営業所	8(札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他)、その他駐在11 (新潟・静岡 他)※2024年3月末現在
工場・研究所	シード鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)

## ●沿革

1957年10月	会社設立 商号「株東京コンタクトレンズ研究所」	2017年 9月	鴻巣研究所3号棟竣工
1987年2月	商号変更「株シード」	2018年4月	保育・児童施設 ふくろうの森 開園
1989年12月	社団法人日本証券業協会に株式の店頭登録	2020年11月	鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
2007年7月	鴻巣研究所を竣工	2021年 5月	株式会社ユニバーサルビュー合併
2011年1月	鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合	2024年 4月	鴻巣研究所2号棟別館竣工
2014年8月	鴻巣研究所2号棟竣工	2024年 5月	「シード本社ビル」竣工
2016年6月	研究棟竣工		



「東京コンタクトレンズ研究所」  
当時の社屋



鴻巣研究所



保育・児童施設 ふくろうの森



本社ビル



# 参考資料:取扱商品

## コンタクトレンズ事業

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、広範囲の製品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています

### ■国産 シードPureシリーズ



シード1dayPure  
うるおいプラス

乱視用



シード2weekPure  
うるおいプラス

乱視用

スマホ眼用



シード1dayPure  
View Support

遠近両用

遠近両用



シード1dayPure  
EDOF

遠近両用

Made in  
Nippon



シード1dayPure  
うるおいプラス乱視用



シード2weekPure  
うるおいプラス乱視用



シード1dayPure  
マルチステージ



シード2weekPure  
マルチステージ

### ■特殊レンズ



シード 虹彩付ソフト  
シード Bi-Expert※  
ユーソフト

※2025年3月31日終売

### ■従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ  
全6種7品



ソフトコンタクトレンズ  
全3種

### ■オルソケラトロジーレンズ



ブレスオーコレクト®

### ■シリコーンハイドロゲルレンズ

シリコーンハイドロゲルレンズ



シード1daySilfa

# 参考資料:取扱商品

## ■サークルレンズ



シード Eye coffret 1day UV M

## スマホ眼用



シード Eye coffret 1day UV M View Support

## 乱視用



シード Eye coffret 1day UV M TORIC

## 遠近両用



シード Eye coffret 1day UV M Multistage

## ■カラーレンズ



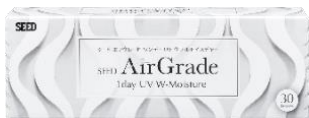
ヒロインメイク 1day UV M



ベルミー

## ■シリコンハイドロゲルレンズ

### シリコンハイドロゲルレンズ



シード AirGrade 1day UV W-Moisture



シード AirGrade 2week UV W-Moisture



シード1dayFine UV plus



シード2weekFine UV plus



シード2weekFine UV plus TORIC



シードMonthlyFine UV plus

## ■シードFineシリーズ

### 乱視用

## コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。



コレクトクリーン  
オルソケラトロジーレンズ(プレスオーコレクト)  
他・酸素透過性ハードコンタクトレンズ用 タンパク洗浄液



フォレストリーフ うるおいW  
ソフトコンタクトレンズ用  
洗浄・保存・すすぎ液



ピュアティモイスト  
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用  
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW  
酸素透過性ハード・  
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

# 参考資料:新パーパス・コーポレートロゴの策定

2024年10月9日に当社の存在意義を明確化したパーパスの策定及びコーポレートロゴの一新を行いました。当社は、多様な「みえる」喜びを創造できる社会の実現を目指してまいります。

## まだみぬ、世界は、美しい

人間の、みることへの欲求は、とどまることを知らない。  
近くだって遠くだって。今も未来も。できるだけ永く。  
人生にコンタクトするレンズには無限の可能性がります。  
私たちはジャパंकオリティの誇りと飽くなき挑戦心で、  
眼に関する多様な課題解決に、力を注いできました。  
移りかわりが早く、先ゆきがみえにくい世の中だからこそ、  
レンズをとおして、新たな未来をみわたしたい。  
あなたと、まだみぬ美しい世界へ。SEEDが寄り添います。



## パーパス策定の背景

当社は、これまで多くのお客様に商品への愛着を持っていただけよう、ブランディングやマーケティングを積極的に行い、一定の成果をあげてきました。しかしながら、今後、海外展開や幅広い領域にブランド価値を広めていく中で、多様なステークホルダーから共感され、選ばれることを目指して、今一度当社の存在意義を見つめ直し、新しいメッセージとしてパーパスを策定しております。

パーパスには、お客さまにコンタクトレンズを通して、“まだみぬ世界”へ期待を抱き、新たな世界や景色と出会っていただきたいという思いが込められております。

# 参考資料:サステナビリティ

## 多様な人材の確保

### ■働きやすい職場づくり

- ・企業主導型保育園の開園
- ・在宅勤務制度
- ・フレックスタイム制
- ・育児短時間勤務の拡大(小6まで)
- ・男性育休制度の推進
- ・病児保育料補助手当の支給
- ・奨学金返還支援制度の導入

### ■ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進

- ・外国籍社員雇用
- ・越境在宅勤務制度の採用
- ・パートナーシップ制度祝金等の LGBTQ 支援制度策定

### ■障がい者雇用の推進

「障害者就労施設プレミアムパートナー企業」として認定

## 災害対策

### ■自然災害、人災損害による被害の極少化への取組み

- ・BCPの恒常的な推進
- ・物流拠点の分散化
- ・災害初動対応マニュアル・事業継続活動マニュアルの作成
- ・災害時における安否確認システムの導入
- ・各事業所や全社用車への防災備品設置
- ・企業主導型保育園との防災連携
- ・災害時における一斉帰宅抑制の推進
- \*東京都一斉帰宅抑制推進企業に認定



### ■「eye×防災」の啓発

- ・災害に対する事前の備えとして、日頃から気をつけておきたい眼の防災に関する啓発を実施

# 参考資料:サステナビリティ

## 地域・社会の課題解決に向けた取り組み

### ■行政との連携

- ・埼玉県鴻巣市包括協定締結
- ▶ブリスター回収活動における覚書締結(2024年4月)
- ・「BLUE SEED PROJECT」協定書締結
- ▶埼玉県三芳町・吉見町

### ■スポーツを通じた子供のサポート

- ・埼玉西武ライオンズと協力し、「SEED Presentsスターティングキッズ」の企画協賛

### ■出前授業の実施

- ・教育機関(小・中・高・大学他)への出前授業
- ▶当社リサイクル素材を使用した万華鏡の作成
- ▶すごろくを通してSDGsを学ぶ
- ▶コンタクトレンズと目の不思議について

### ■積極的な地域活動への参加

- ・子供向け工場見学、理科実験教室開催

### ■芙蓉・女子美Venusファン্ডに賛同、展示場所を提供



## 環境



### ■環境マネジメントシステムの構築

- ・カーボンニュートラル推進
- ・プラスチックリサイクル推進

### ■本社建設資金についてグリーンローン調達を実施

### ■エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画の認定取得

太陽光発電、エネルギー管理システム構築、水資源の再利用

### ■「シード1dayPureうるおいプラス96枚パック」 パッケージリニューアル

包装資材使用量の大幅カットで温室効果ガス排出量を削減

### ■「シードエコロジーマーク」の策定

### ■サーキュラーエコノミーシステムの構築

- ・BLUE SEED PROJECTによるブリスター回収・再資源化

- \*日本政策投資銀行「DBJ環境格付」取得
- \*令和3年度 彩の国埼玉環境大賞を受賞

# 参考資料:株主優待制度

## 株主優待対象となる株主さま

毎年3月31日を基準日として、前年3月31日、前年9月30日および3月31日現在の株主名簿に1単元(100株)以上の保有記録が、同一株主番号で3回以上連続の記載または記録がある株主さま。

優待制度変更に伴い、2025年3月末日の株主名簿に記載の株主さまに限りまして、1年以上の継続保有を条件とすることなく、株主優待制度の対象とさせていただきます。以後の株主優待につきましては、従来のとおり1年以上継続保有を条件といたします。

※既に保有済の株式における保有株式数と取得時期につきましては、株主優待制度の変更による変更はございません。

コース	優待内容	保有株式数	保有年数	
Aコース	株主優待券	100株以上	1年以上	
Bコース	当社コンタクトレンズケア用品セット	100株以上	1年以上	
Cコース	寄付・名産品・QUOカード ※いずれか1つお選びいただけます		1年以上3年未満継続保有	3年以上継続保有
		100株以上1,000株未満	1,000pt	3,000pt
		1,000株以上3,000株未満	3,000pt	5,000pt
		3,000株以上10,000株未満	4,000pt	6,000pt
		10,000株以上	8,000pt	10,000pt

優待利回り(100株以上1,000株未満の場合※)  
 1年以上3年未満継続保有 1.8%  
 3年以上継続保有 5.5%

配当利回り 2.7%  
 詳細はP29をご覧ください。

※ 1pt=1円換算にて算定、2024年12月30日 株価(終値)548円

# 参考資料:シードに関する情報を公式ホームページやSNSで発信

## SNS

シード公式

・TVCM

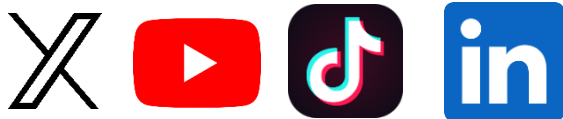
・製品説明動画

・決算説明会、株主総会、IRイベント

・IR動画

・CSR活動(理科実験教室)

・イベントの告知



【商品アカウント】

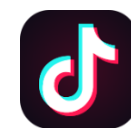
シード1dayPure View Support



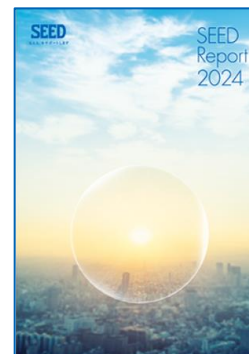
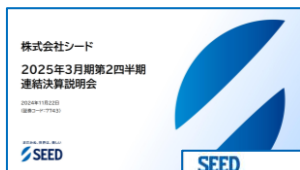
シード Eye coffret 1day UV M



ベルミー



## 当社HP



決算説明会・株主総会資料

中期経営計画説明会資料

IRレポート

統合報告書

## その他

企業と個人株主・投資家をつなぐ



2022年6月20日(月)より、  
個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」にてIRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの掲載に加えて配信しております。

<https://sharebee.jp/>



# 参考資料:シードグループ

## 国内子会社

\*株式会社シードアイサービス

横浜近視予防研究所株式会社

株式会社シードファシリティサービス

## 海外子会社

\*上海実瞳光学科技有限公司(中国)

SEED CONTACT LENS(M)SDN.BHD  
(マレーシア)

上海実瞳商務咨询有限公司(中国)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.  
(ベトナム)

\*上海実瞳健康科技有限公司(中国)

\*SEED Contact Lens Europe GmbH  
(ドイツ)

上海実瞳視光医療科技有限公司(中国)

\*Wöhlk Contactlinsen GmbH  
(ドイツ)

\*香港実瞳健康科技有限公司(香港)

\*Sensimed SA  
(スイス)

\*台湾實瞳股份有限公司(台湾)

\*Contact Lens Precision Laboratories Ltd.  
(イギリス)

\*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.  
(シンガポール)

\*Ultravision international Ltd.  
(イギリス)

※2025年1月現在  
\*:連結子会社



まだみぬ、世界は、美しい



本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。